

稲作情報 (Vol.2)

令和2年6月11日
宮城県石巻農業改良普及センター
石巻地方米づくり推進本部
TEL:0225-95-7612 FAX:0225-95-2999
http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-sgsin-n/

6月上旬の気象経過

◎ 6月上旬は平均気温が平年よりも2.4℃高く、日照時間が平年比159%と、高温多照傾向となりました。降水量は、平年比10%とかなり少なくなりました。

水稻の生育状況(6月10日現在)

～ 草丈は平年に比べ短く、茎数・葉数は少ない傾向 ～

◎ 草丈は、25～28cmで、平年に比べやや短くなっています。

◎ 茎数は、196～280本/㎡程度で、ひとめぼれは平年よりも少なくなっています。ササニシキは生育調査ほ場では平年よりもやや少なくなっています。

◎ 葉数は、平年と比較して、ひとめぼれは平年並、ササニシキは生育調査ほ場では-0.5枚程度と少なくなっています。

表1 生育調査ほの調査結果(6月10日現在)

品種	調査ほ場	草丈 (cm)		茎数 (本/㎡)		葉数 (枚)		葉色 (SPAD値)					
		前年比 (%)	平年比 (%)	前年比 (%)	平年比 (%)	前年差 (枚)	平年差 (枚)	前年差	平年差				
ひとめぼれ	石巻広淵	28.5	98.6	99.9	283	75.7	98.2	7.8	-0.3	0.1	41.7	-1.0	0.9
	東松島小松	26.3	88.9	88.5	240	52.4	71.4	7.6	-0.9	-0.0	39.1	-7.5	-3.4
	平均	27.4	93.7	94.1	262	62.9	83.8	7.7	-0.6	-0.0	40.4	-4.3	-1.2
ササニシキ	石巻寺崎	26.5	84.1	92.5	196	48.6	79.0	6.4	-0.7	-0.5	34.6	-1.9	-1.4
	石巻稲井	25.1	91.9	93.7	228	83.8	117.5	6.5	-0.8	-0.6	36.1	-0.2	0.0
	平均	25.8	87.8	93.1	212	62.8	95.9	6.5	-0.7	-0.5	35.4	-1.1	-0.7

注) 平年値は過去5カ年の平均。

移植日および葉数の前年差および平年差の「+」は遅い、「-」は早いを表す。

〔ひとめぼれの生育経過〕

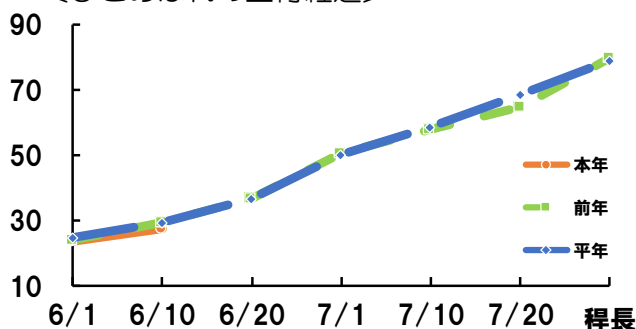


図2 草丈

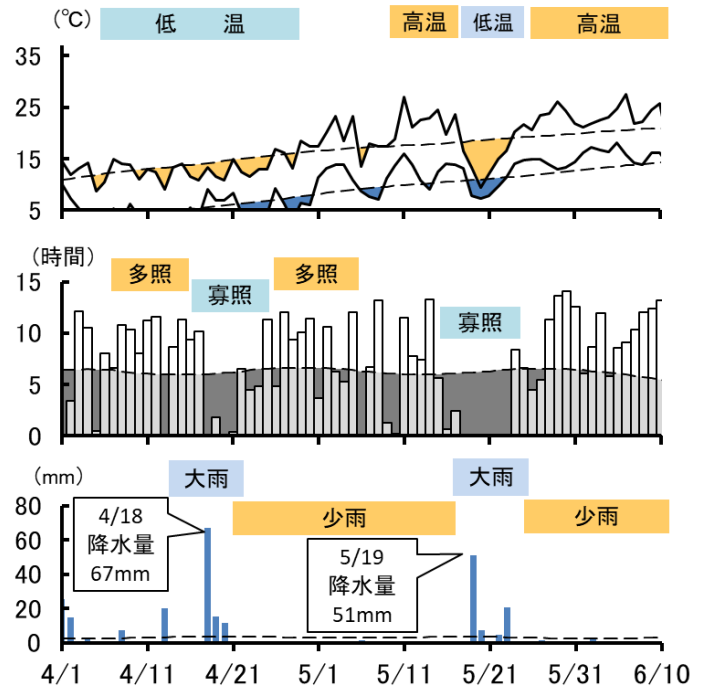


図1 田植後の気象経過(アメダス石巻)

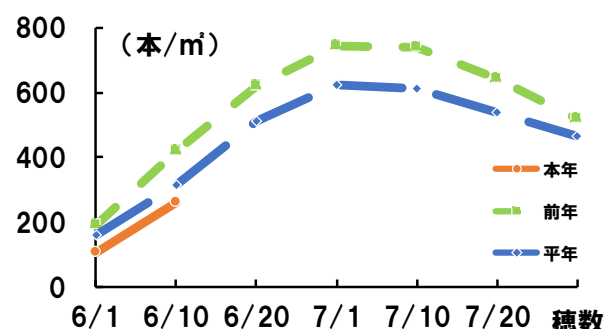


図3 茎数

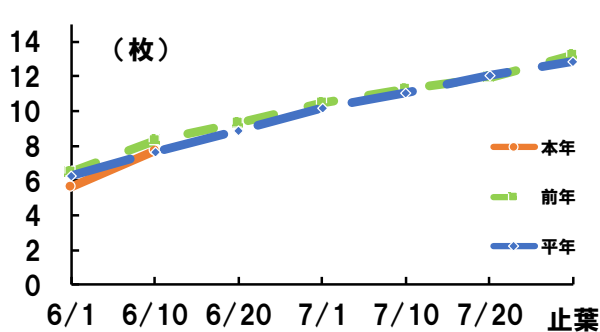


図4 葉数

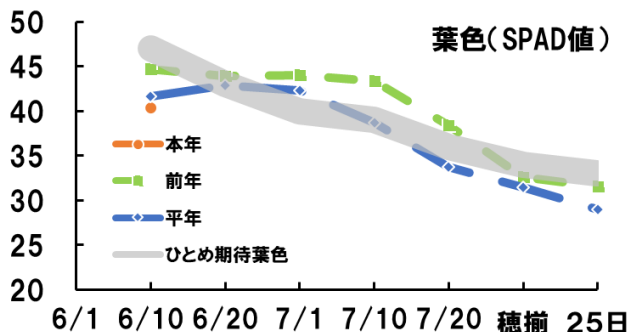


図5 葉色

〔ササニシキの生育経過〕

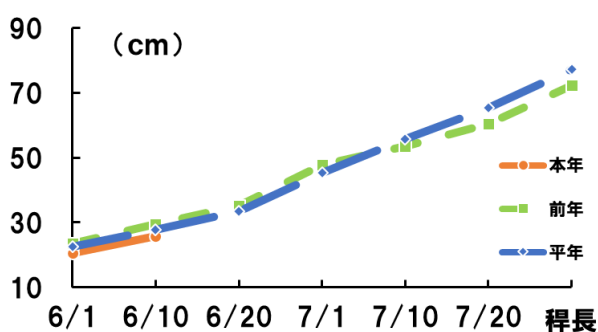


図6 草丈

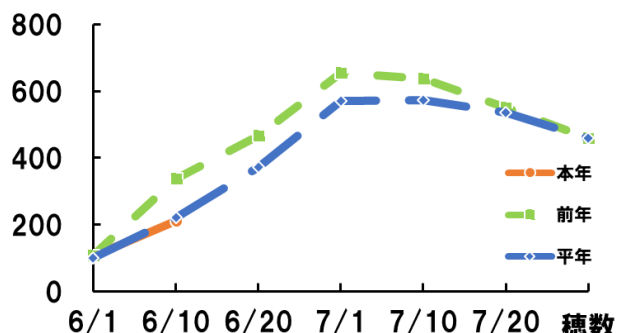


図7 穂数

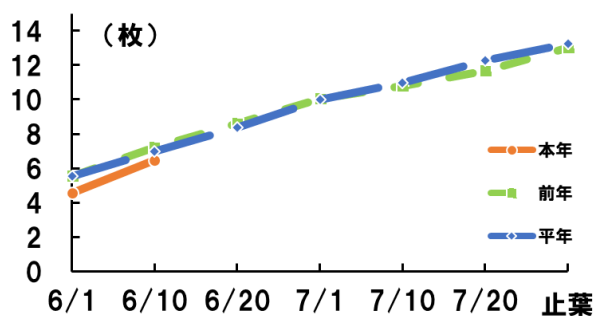


図8 葉数

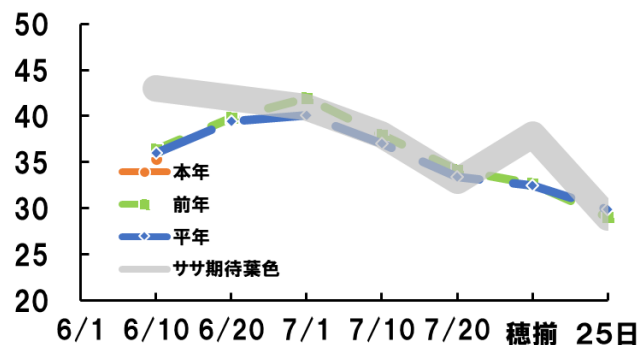


図9 葉色

乾田直播調査ほの生育状況(6月10日現在)

- ◎ 桃生と北上のほ場では、4月18日の大雨の水滴により、表層の土の団粒構造が壊され、空気の隙間がなくなり、その後の乾燥によって目詰まりを起こし、非常に固くなったため、稲の出芽の妨げとなり、出芽と生育のムラが生じました。また、4月は平年に比べ、降雨日が少なかったことと、気温が低く経過したことにより、出芽が遅れていましたが、5月上旬に気温の高い日が続いたため、出芽揃いは平年並みとなりました。
- ◎ 5月中旬後半から5月下旬前半にかけて、気温の低い日が続きましたが、6月に入って気温の高い日が続き、日照時間も多かったため、順調に生育しています。

表2 乾田直播調査ほの生育状況(6月10日現在)

品種	調査ほ場	年度	播種日 (月/日)	出芽揃日 (月/日)	苗立数 (本/㎡)	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉数 (枚)
ササニシキ	石巻市北上	本年	4/7	5/15	104	15.3	139	5.3
ササニシキ	石巻市河南	本年	4/7	5/15	167	18.2	198	4.7
		前年	4/20	5/13	140	23.3	147	4.0
ひとめぼれ	石巻市桃生	本年	3/27	5/12	84	27.6	102	4.7
		H30	4/3	5/13	119	27.2	164	4.9
		平年	4/13	5/18	125	20.0	157	4.7

注) (参考)ひとめぼれの平年値は生産者と品種が同じで、ほ場が異なる5カ年の平均値。



写真1 乾直河北ほ場
(6月10日)



写真2 乾直河南ほ場
(6月10日)



写真3 乾直桃生ほ場
(6月10日)

だて正夢と金のいぶきの生育状況

◎だて正夢は、過去3カ年の平均値と比べ、草丈は長く、茎数と葉数は少なくなっています。

◎金のいぶきは、前年の生育と比べ、草丈はやや短く、茎数は少なくなっています。葉数は0.8枚多くなっています。

表3 「だて正夢」及び「金のいぶき」普及展示ほの調査結果(6月10日現在)

品種	調査ほ場	年次	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉数 (枚)	葉色 (SPAD値)
だて正夢	東松島 小松	R2	31.6	150	7.4	41.0
		前年	38.3	451	7.8	44.0
		過去3カ年	37.3	284	7.5	41.2
金のいぶき	石巻 蛇田	R2	29.4	314	8.1	37.9
		前年	30.7	251	7.3	40.0

注)だて正夢の「過去3カ年」は、H29～R1までの3カ年の平均値。



写真4 だて正夢（6月10日）



写真5 金のいぶき（6月10日）

今後の管理

～今年は生育がやや遅れています。目標有効茎数の確保を確認して中干しを行いましょう～

1 水管理

- ◎ 中干しまでは間断かん水が基本ですが、移植が遅い場合や直播栽培など生育量が不足しているほ場では3cm程度の浅水とし、分げつの発生を促しましょう。
- ◎ 目標有効茎数を確保したら早めに中干しを実施しましょう（目標有効茎数は表4を参考にしてください）。中干しは7～10日間程度で、土の表面に軽くひび割れが入り、歩くと軽く足跡が残る程度が目安です。なお、実施に当たっては、各土地改良区の揚水停止期間を確認し、計画的に水管理を行いましょう。
- ◎ 復元田などで倒伏が心配される場合には、分げつ期における深水管理が有効です。分げつ期に深水とすることで茎数の増加を抑制することができます。ただし、深水管理によって表層はく離が発生しやすくなるので注意しましょう。なお、表層はく離対策としては、浅水管理や日中落水管理が有効です。
- ◎ 有機物を多用している水田などで、土壌からガスの発生が見られる場合には、中耕や一時的に落水するなどして土壌中に酸素を供給し、根への障害を防ぎましょう。

【今後の水管理のポイント】

- 復元田など過繁茂となりやすく、倒伏が心配されるほ場では、
→ 一般ほ場より中干し開始の時期を早める。
- 大区画ほ場や排水不良田では、
→ 溝切りを行い、排水を促す。
- 直播栽培など揚水停止まで必要茎数を確保できないほ場では、
→ 揚水停止直前に湛水し、必要茎数を確保してから中干しする（湛水直播は強めに中干し）。
- 除塩ほ場では、
→ 強い中干しは行わず、飽水管理（足跡の水がなくなったらごく浅めに入水）、又は4～5日程度の短めの中干しとし、田面を乾かし過ぎない。

表4 品種別の目標有効茎数

品種	目標有効茎数(穂数)				
	移植栽培			直播栽培	
	㎡あたり(本/㎡)	1株当たり(本/株)		㎡あたり(本/㎡)	条1m当たり(本/m)
ササニシキ	480～510	50株/坪植え	32～34		
		60株/坪植え	26～28		
ひとめぼれ	410～460	50株/坪植え	27～30	460	条間30cm 138
		60株/坪植え	23～25		条間25cm 115
まなむすめ	390～440	50株/坪植え	26～29	370	条間30cm 111
		60株/坪植え	21～24		条間25cm 93

2 雑草対策

- ◎ 残草がある場合には、中・後期剤を利用してください(表5)。
(※ JAいしのまき環境保全米では中・後期除草剤は使用できません。)
- ◎ 除草剤の選定の際には、雑草の種類や草丈、葉齢などを確認し、適切な剤を選定するとともに、使用の際は、容器のラベルに記載された使用時期、使用方法を守りましょう。

表5 主な中期除草剤(移植・直播共通)

除草剤名	主な適用雑草						使用方法
	ノビエ	一年生雑草 (イネ科を除く)	ホタルイ	クログワイ	シズイ	コウキヤガラ	
クリンチャーEW	○ 注1						【移】湛水散布又は落水散布 【直】雑草茎葉散布又は全面散布
クリンチャー1キロ粒剤	○						湛水散布又は無人ヘリ散布
クリンチャージャンボ	○						水田に小包装(パック)のまま投入
バサグラン液剤		○	○	○	○【移】	○【移】	落水散布又はごく浅く湛水して散布
バサグラン粒剤		○	○	○【移】	○【移】		落水散布又はごく浅く湛水して散布
クリンチャーバスME液剤	○ 注2	○ 注2	○	○【移】	○【移】	○【移】	【移】落水散布又はごく浅く湛水して散布 【直】乾田・落水状態で雑草茎葉散布又は全面散布
トドメMF乳剤	○注3						【移】湛水・落水散布、【直】雑草茎葉散布
トドメMF1キロ粒剤	○注4						湛水散布又は無人航空機による散布

※ 登録内容は令和2年6月11日現在のものです。使用前に必ず最新の登録内容を確認して、適正に使用してください。

表中の【移】は移植栽培のみ、【直】は直播栽培のみの登録です。

注1 農薬登録は、移植水稻がノビエ、直播水稻が水田一年生イネ科雑草への適用となっています。

注2 農薬登録は、水田一年生雑草への適用となっています。

注3 農薬登録は、移植水稻はノビエ7葉期まで(湛水又は落水散布)。直播水稻はノビエ6葉期まで(雑草茎葉散布)。

注4 農薬登録は、移植水稻はノビエ5葉期まで、直播水稻はノビエ4葉期まで(湛水又は無人航空機による散布)。

3 いもち病対策 ～ 移植では残苗処分、直播では予防防除を！～

- ◎ 残苗が置かれているほ場が散見されますので、直ちに処分しましょう。
- ◎ 例年、直播栽培で葉いもちが散見され、一部発生程度の高いほ場も見られます。直播栽培では、必ず6月中～下旬に葉いもち予防剤による防除を行いましょう。

4 斑点米カメムシ類対策

- ◎ 宮城県では、平成18年以降、全検査数量のうち2～4%が斑点米カメムシ類による着色粒が原因で落等しています。
- ◎ 畦畔や農道、雑草地、休耕田のイネ科雑草は、今後斑点米カメムシ類の重要な繁殖源となるので、今から計画的な草刈りを行い、カメムシ類の発生を抑制しましょう。
- ◎ ほ場の中にイヌホタルイが残っている場合は、斑点米による落等の確率が高まるので(表6)、7月上旬までに追加除草を行ってください。

表6 イヌホタルイ発生量に基づく斑点米被害リスク

6月下旬の株数/m ²	2等以下に落等する確率
0～1	0～30%
1～6	30～40%
6～16	40～50%
16～28	50～60%
28～42	60～70%
42～61	70～80%
61～90	80～90%
90～112	90～94%
112～	94%～

調査方法: 水田内でイヌホタルイが密生している1か所を調査する。
条間1m内の株数を3.3倍して1m²あたりの株数を求める。
(宮城県病害虫防除所)

※殺虫剤散布を行わない場合の被害リスクは、上記の確率よりも高まる可能性があります。

東北地方1か月予報

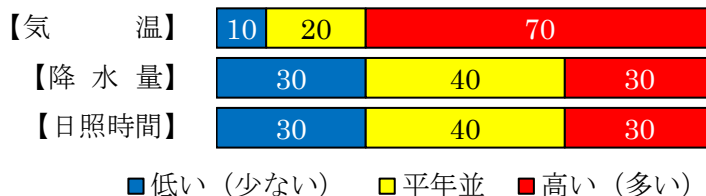
(6月6日から7月5日までの天候見通し)

令和2年6月4日 仙台管区气象台 発表

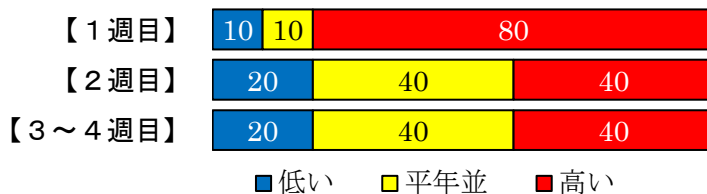
<予想される向こう1か月の天候>

平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期>

1か月 : 6月6日(土)～ 7月5日(月)

1週目 : 6月6日(土)～ 6月12日(金) 2週目:6月13日(土)～ 6月19日(金)

3～4週目 : 6月20日(土)～ 7月 3日(金)

～ 農薬危害防止運動実施中(6月1日～8月31日) ～

農薬の使用に当たっては、必ずラベルに記載された適用病害虫、使用方法、最終有効年限等を確認して、定められた方法を厳守してください。

最新の農薬登録情報は、農林水産消費安全技術センターホームページ

<http://www.acis.famic.go.jp/searchF/vtllm001.html> で確認できます。